

琴平町地球温暖化対策実行計画実施状況報告（概要）

「琴平町地球温暖化対策実行計画」は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に準じ、琴平町が平成 23 年度に地球温暖化の主要因である二酸化炭素（CO₂）の発生抑制を目的として策定したものです。本町は、計画を基に率先して環境に配慮した事務・事業を推進すると共に、本報告で計画の取組状況について公表するものです。

1. 実行計画の概要

- ✓ 基準年：平成 22 年度
- ✓ 実行計画期間：平成 24 年度 ～ 平成 28 年度
- ✓ 実行計画の対象範囲：本町の管理する事務及び事業
- ✓ 調査対象ガス：二酸化炭素（CO₂）
- ✓ 基準年の温室効果ガス排出量（基準排出量）：673 t-CO₂
- ✓ 削減目標：基準排出量に対し 3.6%（24 t-CO₂）以上削減

2. 平成 25 年度 実行計画実施状況

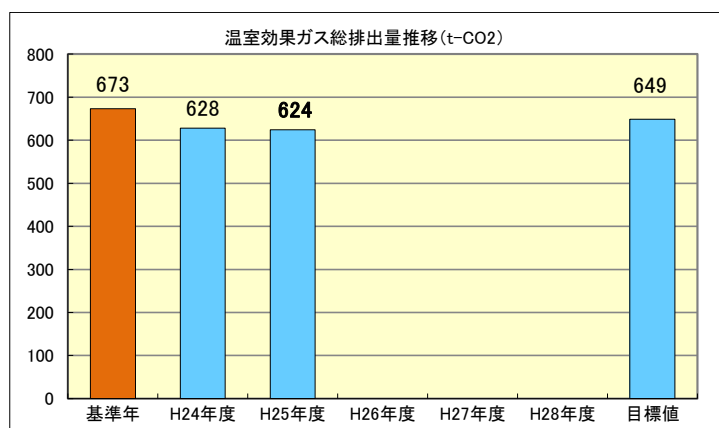
(1) 温室効果ガス排出量算定の概要

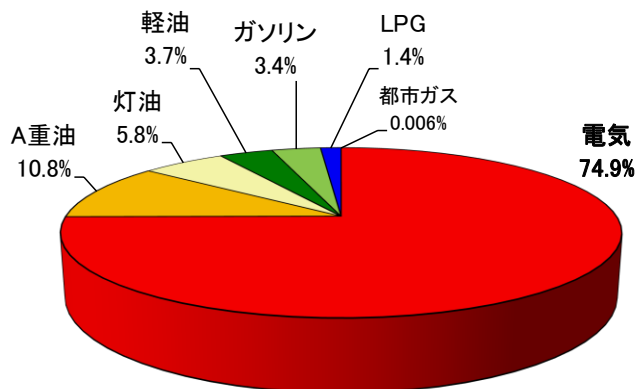
- ✓ 温室効果ガス排出量は、「活動量」（電気、燃料などの使用量）に、「排出係数」（電気や燃料など個別に設けられた係数）をかけて求めます。
- ✓ 「排出係数」は下記の理由により、基準年と同一の係数を使用します。
 - 温室効果ガス排出量の増減には、排出係数の増減が影響するため。
 - 職員の取組状況把握のため、実行計画の管理には活動量の変化のみ考慮した排出量で評価するため。

(2) 温室効果ガス排出量推移及び排出源構成

- ✓ 平成 25 年度温室効果ガス排出量 ： 624 トン（7.2%削減）

本町における温室効果ガス排出量は平成 25 年度には 624 t-CO₂ となり、基準排出量（673 t-CO₂）に対して、7.2%（49 t-CO₂）減少しています。なお、排出源構成では、電気使用に伴う排出量が全体の 74.9%を占めています。





注) 構成比の合計については、端数処理の関係により 100%にならない場合があります。

(3) 排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況

排出源別では、軽油、A重油、LPG及び電気使用に伴う排出量は基準年比で減少したのに対し、ガソリン、灯油、都市ガス使用に伴う排出量は基準年比で増加しています。

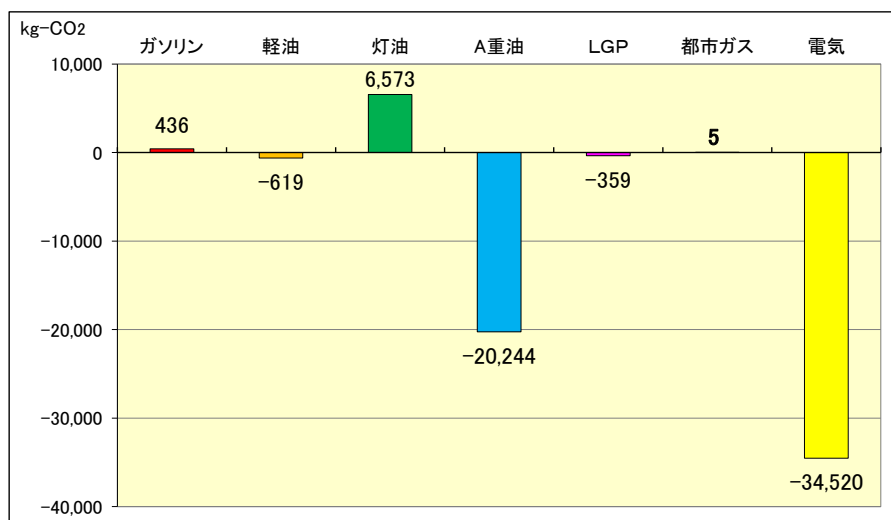
温室効果ガス全体の排出量の減少には、電気とA重油使用量の減少が影響しています。

(単位: kg-CO₂)

項目	平成22年度 (基準年)	平成24年度		平成25年度			
	排出量	排出量	基準年 対比	排出量	前年度 対比	基準年 対比	
燃料	ガソリン	20,687	20,438	-1.2%	21,123	3.4%	2.1%
	軽油	23,815	23,505	-1.3%	23,196	-1.3%	-2.6%
	灯油	29,729	31,999	7.6%	36,302	13.4%	22.1%
	A重油	87,452	77,121	-11.8%	67,208	-12.9%	-23.1%
	LPG	9,219	8,772	-4.9%	8,859	1.0%	-3.9%
	都市ガス※1	30	25	-15.4%	34	36.4%	15.4%
電気	502,181	465,921	-7.2%	467,661	0.4%	-6.9%	
温室効果ガス全体	673,112※2	627,781※3	-6.7%	624,384	-0.5%	-7.2%	

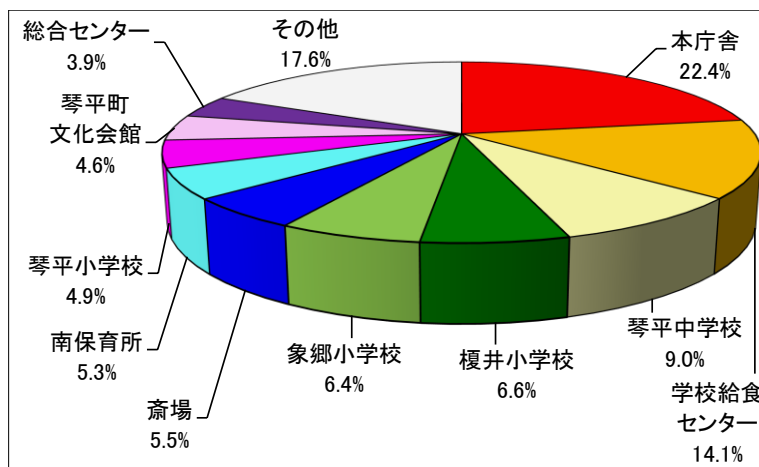
※1：平成25年度実績調査におけるデータ精査の結果、基準年及び平成24年度の都市ガスの排出量を見直しています。

※2、※3：平成25年度実績調査におけるデータ精査の結果、基準年及び平成24年度の排出量を見直しています。



(4) 施設別温室効果ガス排出構成

平成 25 年度の施設別の温室効果ガス排出構成では、本庁舎の排出量が最も多く（全体の 22.4%）、以下学校給食センター（14.1%）、琴平中学校（9.0%）等が続いています。



注) 構成比の合計については、端数処理の関係により 100%にならない場合があります。

(5) 施設別温室効果ガス増減状況

施設別の温室効果ガス排出量について、基準年比の増減状況を見ると、12 施設で排出量が約 72 t-CO₂ 減少しています。排出量減少の要因としては、本庁舎、総合センターにおける電気使用に伴う排出量の減少、学校給食センター、琴平小学校における A 重油使用に伴う排出量の減少が挙げられます。

一方、12 施設で排出量が約 23 t-CO₂ 増加しており、なかでも公会堂、榎井小学校においては電気使用に伴う排出量の増加、斎場における灯油使用に伴う排出量の増加が目立っています。

なお、施設別の温室効果ガス排出量の増減要因には、主に電気使用量が影響しています。

排出量が減少した施設

(単位: kg-CO₂)

課・施設	平成22年度 (基準年)	平成25年度	対基準年 減少量
1 本庁舎	169,114	139,802	-29,312
2 学校給食センター	100,075	86,369	-13,706
3 総合センター	37,485	24,512	-12,973
4 琴平小学校	38,797	30,363	-8,435
5 琴平町文化会館	30,593	28,611	-1,982
6 琴平中学校	58,102	56,197	-1,905
7 琴平児童館	2,162	1,099	-1,063
8 苗田児童館	3,531	2,739	-792
9 北幼稚園	5,350	4,590	-760
10 教育集会所	4,357	3,840	-517
11 象郷農業構造改善センター	7,009	6,908	-101
12 榎井公民館	4,906	4,850	-56
合計	461,482	389,880	-71,602

排出量が増加した施設

(単位: kg-CO₂)

課・施設	平成22年度 (基準年)	平成25年度	対基準年 増加量
1 公会堂	10,558	18,039	7,482
2 榎井小学校	35,492	41,183	5,691
3 斎場	31,648	34,175	2,527
4 象郷小学校	37,931	40,106	2,176
5 北保育所	20,966	22,342	1,375
6 南保育所	31,898	33,053	1,156
7 旧金毘羅大芝居	11,086	12,076	989
8 ACTことひら	10,961	11,541	580
9 デイサービスセンター	5,512	5,838	326
10 生涯教育課(教育委員会)	8,359	8,659	301
11 南幼稚園	4,576	4,766	190
12 象郷会館	1,300	1,356	56
13 ゆうあいの家	1,344	1,369	25
合 計	211,630	234,505	22,874

(6) 今後の課題

本町の排出構成としては、電気使用に伴う排出量が全体の約 75%を占めており、電気使用の削減は本町の温室効果ガス削減のために重要であること、また、電気使用に伴う排出量が前年度比で 0.4%増加していることから、今後は以下の事項を取組上の重点課題とします。

- ✓ 職員に対して電気に係る取組（空調・OA 機器・照明）の一層の強化を図ること、また、高効率な機器への更新や適切なメンテナンスの実施により、エネルギー効率の向上を図っていくことを重点課題とします。